

文 化 財

1. 文化財の概念及び保護の必要性

「文化財」の指し示す内容は多岐に渡り、広義には人類がその活動の過程において生み出した「文化的所産」のすべてをいう。形として残されたものはもちろん、形では示すことができない技術・芸能・風俗習慣も含まれている。また人が働き掛けた結果、維持されている自然環境も文化財として捉える傾向にあり、ユネスコの「文化遺産（Cultural Heritage）」とほぼ同じ内容をさす。

狭い意味では、日本の文化財保護法第2条及び地方公共団体の制定する文化財保護条例に規定されている「文化財」がその対象となる。文化財保護法で文化財と規定されているものには、①有形文化財・②無形文化財・③民俗文化財・④記念物・⑤文化的景観・⑥伝統的建造物群があり、これらはさらに細分される。また、⑦文化財の保存技術や⑧埋蔵文化財も保護する対象となっている。

文化財はその時代に生きた人々の創造的・文化的活動の象徴であり、そこには我々がこれからの時代を展望する上で学ぶべき情報が凝縮されている。したがって現代に生きる私たちは、これらの文化財を保護し、永く後世に伝えていく義務を負っていると考えなければならない。近年では文化財保護活動の一環として、あるいはこれと切り離すことができない活動として、「普及と活用」が求められている。

2. 沼津市の文化財保護

近年における著しい地域開発の進展は、本市においても例外ではなく、貴重な文化遺産を次々と消滅させてきている。とりわけ遺跡の名で呼ばれる埋蔵文化財の破壊は著しいものがあり、開発と遺跡保護との問題がたびたび論議されている。このため、開発を行おうとする事業者等に対し、破壊防止と保護を目的として必要に応じて埋蔵文化財確認調査の実施を指導している。

その他の文化財についても、文化財の現況を調査し、よりきめの細かな保護策を講じ、また必要に応じて記録保存や整備に努めている。

さらに、文化財の愛護思想の周知啓発を図るため、学校等からの要望による「出前講座」を積極的に受け入れている。

3. 文化財保護審議会

文化財の保存及び活用のため必要な措置を講じ、市民の文化的向上に資するとともに、我が国文化の進歩に貢献するために、沼津市教育委員会の諮問機関として沼津市文化財保護審議会を設置している。これは、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議するとともに、これらに関する専門的及び技術的事項に関し、必要と認める事項を教育委員会に建議するという役割をもっている。委員は10人以内で構成され、その任期は2年となっている。

令和5年度活動実績

第1回文化財保護審議会

- 案件……………1. 現地視察
- 石川観音堂
2. 審議事項
- 沼津市文化財保存活用地域計画の検討について
3. 報告事項
- 海瀬家住宅主屋の国登録有形文化財への登録と特別公開について
 - 加藤学園暁秀初等学校本館の国登録有形文化財への申請について
 - 西浦河内の天王祭における獅子神楽の調査について
 - 赤野観音堂の扁額について

第2回文化財保護審議会

- 案件……………1. 審議事項
- 沼津市文化財保存活用地域計画の検討について

第3回文化財保護審議会

- 案件……………1. 審議事項
- 沼津市文化財保存活用地域計画の検討について

4. 文化財活用推進事業

平成31年4月施行の文化財保護法の改正により、文化財は、これまでの調査・保存だけでなく、その成果を市民に発信するなど積極的な活用が求められている。本市では、統合により廃校となった旧静浦西小学校を、文化財の管理や調査のための機能のほか、展示室や体験室、講座室を備えた文化財センターに改修して、片浜地区にあった旧施設から機能を拡充し平成31年2月に移転した。この新たな文化財センターを拠点として、埋蔵文化財を含む市内の文化財の活用や情報発信に取り組んでいる。

令和5年度実施実績

- 子ども向け文化財体験イベントの実施
- まちあるきマップ作成（大平地区）
- 個人でまわる文化財めぐりの実施（解説動画にリンクするQRコードを文化財に設置）
- 現地解説、体験学習等出張授業の実施（今沢中、原中、大平中）
- 文化財保存活用地域計画の検討
- 地域関係団体との共催イベントの実施（内浦湾クルージングと長浜城ウォーキング、高尾山穂美神社祭典（根古屋）における文化財ブース出店）
- 文化財センター通信の発行（年2回）
- 展示室の公開、展示室パンフレットの配布
- N-GIGAへのデジタルコンテンツの提供

令和6年度事業計画

- 高尾山古墳国史跡指定記念イベント（シンポジウム、展示、連続講座等）の開催
- 文化財保存活用地域計画の策定
- 子ども向け文化財体験イベントの実施
- 古代食をテーマとした文化財講演会の実施
- まちあるきマップ作成（第一地区、第二・千本地区）
- 個人でまわる文化財めぐりの実施（解説動画にリンクするQRコードを文化財に設置）
- 現地解説、体験学習等出張授業の実施
- 地域関係団体との共催イベントの実施
- 文化財センター通信の発行（年2回）
- 展示室の公開、展示室パンフレットの配布
- N-GIGAへのデジタルコンテンツの提供

5. 埋蔵文化財

(1) 開発行為の調整・指導

埋蔵文化財包蔵地内の開発及び埋蔵文化財分布調査指導依頼のあった開発行為について、遺跡の確認調査を行い、その結果に基づいて指導・調整を行う。

令和5年度実施実績

- 公共事業（文化財保護法第94条）…… 7件
- 民間事業（文化財保護法第93条）……157件

(2) 遺跡の分布調査・発掘調査

民間開発事業及び公共事業に伴う埋蔵文化財の記録保存のための発掘調査

令和5年度実施実績

- 岡宮北土地区画整理事業
- 道路新設改良事業（中原遺跡）
- 静岡東部拠点土地区画整理事業
- 埋蔵文化財発掘調査補助事業

令和6年度事業計画

- 道路新設改良事業（古田遺跡）
- 静岡東部拠点土地区画整理事業
- 埋蔵文化財発掘調査補助事業

(3) 発掘調査成果の整理・報告書の刊行

令和5年度実施実績

- 中原遺跡埋蔵文化財発掘調査受託事業
- 鉄道施設移転事業（中原遺跡）
- 片浜西沢田線道路改良事業
- 香陵公園周辺整備事業
- 静岡東部拠点土地区画整理事業

- 埋蔵文化財発掘調査補助事業
- 埋蔵文化財発掘調査整理事業

令和6年度事業計画

- 中原遺跡埋蔵文化財発掘調査受託事業
- 鉄道施設移転事業（中原遺跡）
- 片浜西沢田線道路改良事業
- 埋蔵文化財発掘調査補助事業
- 埋蔵文化財発掘調査整理事業
- 岡宮北土地地区画整理事業

(4) 普及啓発活動

令和6年度事業計画

- 文化財調査報告書の頒布
- 体験学習の受け入れ
- 資料の貸し出し
- 出前講座

6. 文化財管理

文化財の保護・管理

令和5年度実施実績

- 史跡等の保全管理

休場遺跡、興国寺城跡、江浦横穴群、長浜城跡、長塚古墳、大瀬崎のビヤクシン樹林、松城家住宅、帯笑園、井田松江古墳群、高尾山古墳の雑草木の除去、大瀬崎ビヤクシン樹林の病虫害防除、史跡の環境整備

- 史跡等の保存整備

興国寺城跡保存整備事業（整備調査委員会の開催、整備基本計画作成、発掘調査ほか）
高尾山古墳保存整備事業（保存活用計画策定準備、整備委員会の開催ほか）
大瀬崎のビヤクシン樹林保存活用事業（管理道路実施設計、維持管理ほか）

令和6年度実施計画

- 史跡等の保全管理

休場遺跡、興国寺城跡、江浦横穴群、長浜城跡、長塚古墳、大瀬崎のビヤクシン樹林、松城家住宅、帯笑園、井田松江古墳群、高尾山古墳の雑草木の除去、大瀬崎のビヤクシン樹林の病虫害防除、史跡の環境整備

- 史跡等の保存整備

興国寺城跡保存整備事業（整備調査委員会の開催、発掘調査、整備基本計画作成ほか）
高尾山古墳保存整備事業（整備委員会の開催、保存活用計画・整備基本計画策定準備、国史跡指定記念イベント等開催ほか）
大瀬崎ビヤクシン樹林保存活用事業（管理道路工事、看板実施設計、維持管理ほか）

7. 重要文化財 松城家住宅

松城家住宅は、江戸時代から廻船業を営み財を成した松城家の居宅として明治6年に棟上げされた。建築様式は擬洋風建築と呼ばれ、幕末から明治初期のわずかな期間にのみ建築された貴重なものであり、日本に現存する擬洋風建築の中でも最初期のものである。また、主屋内部には左官の名工といわれた入江長八やその一派が手掛けたとされる漆喰鏝絵が随所に配されている。



松城家住宅は、平成18年に重要文化財に指定されたのち、平成28年から令和4年まで保存修理工事を行い、明治初期の佇まいに復原され、令和4年11月3日から一般公開を開始した。

(1) 施設の概要

名 称	重要文化財松城家住宅（平成18年7月5日 重要文化財指定）
所 在 地	沼津市戸田72
電 話	0558-94-3115（指定管理者 戸田観光協会）
一 般 公 開	令和4年11月3日
施 設 内 容	主屋・ミセ・文庫蔵・東土蔵・北土蔵・門柱及び外塀・庭門及び塀
開 館 時 間	午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
観 覧 料	大人（高校生以上）300円 小人（小・中学生）100円 市内の小・中学生は無料 団体（20人以上）大人（高校生以上）200円 小人（小・中学生）50円
休 館 日	水曜日（水曜日が休日の場合は翌日） 年末年始（12月31日・1月1日）
貸 館	全館又は土蔵（展示物の展示のみ）

(2) 運営

指定管理者の指定 令和4年11月1日から戸田観光協会を指定管理者に指定している。

令和5年度事業実績

事業名	期 日	内 容	備 考
イベント等	4月1日～ 8月30日	昭和の松城家写真展	入館者 931人
	8月21日	静岡県民の日企画展 紙芝居 戸田読み聞かせ倶楽部たちばな	入館者 48人
	11月3日	開館1周年記念企画展 へだ号見聞 講師 山口展徳氏 松城家ゆかりの品展示会 開館1周年記念来館証発行	入館者 79人
	12月3日～ 2月29日	重要文化財宿泊支援高付加価値化事業 松城家住宅観覧と宿泊をセットにした観光 商品の販売	入館者 155人
	1月26日	重要文化財防火デー（防災訓練）	入館者 24人
	2月23日	富士山の日企画展 紙芝居 戸田読み聞かせ倶楽部たちばな 絵物語 平戸のお地藏さん	入館者 70人

令和6年度事業計画

事業名	期 日	内 容
イベント等	4月～	販売事業 御朱印調来館証 オリジナル缶バッジ 戸田塩ジェラート
	4月14日	観覧割引券発行事業 戸田深海魚まつり参加者に割引券配布
	8月21日	静岡県民の日企画展
	1月26日	重要文化財防火デー（防災訓練）
	2月23日	富士山の日企画展

令和5年度入館者数

総入館者数	有 料 者	無 料 者	開 館 日	一日平均入館者数
2,543人	2,036人	507人	317日	8.0人

8. 帯笑園（登録記念物）

帯笑園は、原の素封家植松家が江戸時代後期から昭和初期まで代々伝えてきた東海道随一とうたわれた名園である。一般的な庭園とは異なり、珍しい植物のコレクションを陳列し、当時には珍しい温室を備えるなど、植物園のような性格をもつものであった。

帯笑園は、平成24年に登録記念物（名勝地関係）として国登録され、その後園地整備等を進め、平成31年4月29日から一般公開を開始した。



(1) 施設の概要

名 称	帯笑園（平成24年9月19日 登録記念物登録）
所 在 地	沼津市原字御殿場194番1 外2筆
電 話	935-5010（沼津市文化財センター）
一 般 公 開	平成31年4月29日
面 積	2,211.70㎡（登録面積 1,584.38㎡）
施 設 内 容	庭園・臨春亭・西藏・居間蔵等
開 園 時 間	午前9時～午後4時（土曜日・日曜日・祝日のみ）
観 覧 料	無料
休 園 日	平日 年末年始（12月29日～1月3日）

(2) 運営

来園者に対する案内及び庭園等の日常的な管理について、令和元年度から毎年度、帯笑園保存会への業務委託により実施している。なお帯笑園保存会の自主事業として、令和5年度はサクラソウ鑑賞会・エビネ展、春の山野草展、ウチョウラン展・陶芸展、アサガオ展、薩摩琵琶演奏会、秋の七草・山野草・キク花展、ナデシコの育て方教室、サクラソウ育て方教室、クリスマスローズ展など四季折々のイベントを実施し、令和6年度も同様のイベントを予定している。

令和5年度入園者数

入園者数	開園日	一日平均入園者数
3,009人	117日	25.7人

沼津市の文化財

○国 指 定

種 別	名 称	指定年月日	所 在
工 芸 品 (国 宝)	太刀 銘一	昭 27.11.22	佐 野 美 術 館
工 芸 品 (重要文化財)	短刀銘備中國住守次作延文二年八月日	昭 27. 7.19	大 岡
建 造 物 (重要文化財)	松城家住宅 7 棟	平 18. 7. 5	戸 田
絵 画 (重要文化財)	紙本著色山王靈驗記	昭 25. 8.29 (旧指定 昭2.4.15)	東京国立博物館
工 芸 品 (重要文化財)	太刀 銘眞長 附絲卷太刀拵	昭 29. 3.20	佐 野 美 術 館
”	沈金獅子牡丹文長覆輪太刀拵	”	”
”	金銅聖觀音像懸仏	昭 39. 5.26	千 本 常 盤 町
典 籍 (重要文化財)	宝物集卷第一 附原表紙	平 6. 6.28	岡 宮
史 跡	休場遺跡	昭 54. 1.24	宮本字元野ほか
”	長浜城跡	昭 63. 5.13 追加 平14.12.19	内 浦 長 浜 ほか
”	興国寺城跡	平 7. 3.17 追加 平12. 3. 7 追加 平19. 7.26 追加 平24. 9.19	根古屋字古城ほか
天然記念物	大瀬崎のビャクシン樹林	昭 7. 7.25	西 浦 江 梨
重 要 有 形 民 俗 文 化 財	沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具	平 22. 3.11	歴史民俗資料館
名 勝	旧沼津御用邸苑地	平 28.10. 3	下 香 貫

○国 登 録

種 別	名 称	指定年月日	所 在
建 造 物 (有形文化財)	光長寺御宝蔵	平 12. 2.15	岡 宮
”	大中寺恩香殿・通玄橋	平 12. 4.28	中 沢 田
”	安田屋旅館松棟・月棟	”	内 浦 三 津
”	沼津倶楽部北棟・南棟・長屋門	平 27. 3.26	千 本 郷 林
”	松蔭寺開山堂・山門	平 28. 8. 1	原 東 町
”	小栗家住宅主屋	令 2. 4. 3	上香貫字榎島町
”	海瀬家住宅主屋	令 5. 8. 7	西 浦 河 内
”	加藤学園暁秀初等学校本館	令 6. 3. 6	岡 宮 ほか
名勝地関係 (記念物)	帯笑園	平 24. 9.19	原 西 町

○県 指 定

種 別	名 称	指定年月日	所 在
絵 画	白隠自画像	昭 43. 7. 2	原 東 町
工 芸	槍 名物蜻蛉切	昭 30. 2.25	佐 野 美 術 館
”	太刀 銘景則	昭 30. 4.19	”
”	太刀 銘備州長船住近景	”	”
”	太刀 銘了戒	”	”
”	刀 銘津田越前守助廣	”	”
”	短刀 銘信國 俱利迦羅透彫	昭 32. 5.13	”
”	梵 鐘	昭 31.10.17	本 郷 町
典 籍	科註妙法蓮華經	昭 30. 4.19	原 東 町
古 文 書	法門聴聞集 附連々聴聞集 日弁消息 日意筆法門聴聞集表題並びに奥書	平 6. 3.25	岡 宮
考 古 資 料	玉砥石	昭 31. 5.24	平 町
”	蔵骨器	昭 31.10.17	本 郷 町
”	子持勾玉 附白玉他滑石製模造品	昭 33. 9. 2	歴史民俗資料館
”	植出北Ⅱ遺跡出土ガラス勾玉鎔範 4点	令 2.12. 8	志 下
歴 史 資 料	繡字法華經 附1幅	平 8.11.18	岡 宮
有 形 民 俗	大瀬神社奉納漁船模型	昭 56.10.23	西 浦 江 梨
”	浮島沼周辺の農耕生産用具	平 2. 3.20	歴史民俗資料館
無 形 民 俗	戸田の漁師踊・漁師唄	昭 54.11.19	戸 田
”	江浦の水祝儀	平 11. 3.15	江 浦
史 跡	白隠禅師墓	昭 29. 1.30	原 東 町
”	江浦横穴群	昭 52. 3.18	江 浦
”	洋式帆船建造地及びプチャーチン宿所 附関係遺品一括	昭 42.10.11 追加・名称変更 昭 56.10.23	戸 田
”	井田松江古墳群	平 7. 3.20	井 田
”	長塚古墳	平 11.11.16	東 沢 田
天 然 記 念 物	岡宮浅間神社のクス	昭 44. 5.30	岡 宮
”	御浜岬のイヌマキ群生地	昭 55.11.28	戸 田
”	鮎壺の滝	平 8. 3.12	大 岡 ほ か
”	河内の大スギ	平 14. 3.22	西 浦 河 内

○市 指 定

種 別	名 称	指定年月日	所 在
建 造 物	禅長寺頼政堂	平 12. 3. 31	西 浦 河 内
”	赤野観音堂	”	柳 沢
”	大川家長屋門	平 20. 1. 17	内 浦 長 浜
絵 画	涅槃図	平 21. 3. 30	下 河 原 町
彫 刻	木造十一面観世音菩薩立像	昭 47. 12. 14	柳 沢
”	木造阿弥陀如来三尊立像	”	下 小 路 町
”	木造盧舎那仏坐像	”	市 道 町
”	木造地藏菩薩坐像	昭 50. 5. 8	大 岡
”	木造伝月光菩薩立像	”	歴史民俗資料館
”	木造観世音菩薩立像	”	大 平
”	木造阿弥陀如来立像	”	西 浦 河 内
”	木造金剛力士像 阿形・吽形	”	岡 宮
”	木造釈迦如来坐像	”	下 河 原 町
”	木造観世音菩薩立像	昭 55. 5. 15	大 平
”	木造白隠禅師坐像	平 29. 3. 28	原 東 町
工 芸	千手観音像懸仏	平 15. 1. 31	西 浦 河 内
”	大日如来像懸仏	”	”
”	諸口神社の鰐口	平 18. 3. 28	戸 田
書 跡	京極為兼卿書状	昭 60. 2. 21	平 町
古 文 書	今川氏親生母伊勢氏寺領寄進状	昭 47. 12. 14	下 小 路 町
”	今川氏親生母伊勢氏寄進寺領書立	”	”
”	今川氏親棟別役免除朱印状	”	”
”	獅子浜植松家戦国文書	平 23. 2. 8	明 治 史 料 館
考 古 資 料	休場遺跡出土細石器	昭 58. 12. 15	志 下
”	軒通遺跡出土壺形土器	”	”
”	三角縁神獣鏡	平 20. 1. 17	中 沢 田
歴 史 資 料	輿地航海図	昭 59. 4. 19	明 治 史 料 館
”	大平村絵図	平 2. 3. 29	大 平
”	三枚橋絵図	”	歴史民俗資料館
”	沼津宿絵図	”	”
”	本町絵図	”	”
”	上香貫絵図	”	”
”	井田の不動明王像	平 18. 3. 28	井 田
”	ディアナ号の錨	”	戸 田
有 形 民 俗 文 化 財	沼津沿岸の漁撈に関する奉納絵馬	令 4. 9. 8	歴史民俗資料館ほか
史 跡	神明塚古墳	昭 45. 2. 19	松 長
”	子ノ神古墳	”	西 沢 田
”	日吉廃寺塔址及び礎石	”	大 岡
”	霊山寺変形宝篋印塔	”	本 郷 町
”	霊山寺五輪塔	”	”
”	伝阿野全成・時元墓	昭 58. 6. 15	井 出
”	日露交渉地跡大行寺	平 18. 3. 28	戸 田
天 然 記 念 物	久連神社社叢	昭 52. 12. 22	西 浦 久 連
”	赤野観音堂のカヤ	”	柳 沢
”	河内の稲荷スギ	平 15. 1. 31	西 浦 河 内
”	部田神社のコブ付大クス	平 18. 3. 28	戸 田

○沼津市文化財センター頒布図書一覧

集	発行年	頒 布 図 書 名	頒布価格
13	1978	藤井原遺跡発掘調査報告書Ⅰ 遺構編	3,000円
15	1979	大瀬崎ビャクシン樹林環境調査報告書	1,000円
18	1980	長井崎遺跡発掘調査報告書	2,000円
30	1983	尾上イラウネ遺跡発見の線刻磔調査報告書	1,500円
33	1985	寺林南遺跡発掘調査報告書	1,500円
35	1985	埋蔵文化財発掘調査報告書	2,000円
36	1985	平沼吹上遺跡発掘調査報告書	3,000円
37	1986	豆生田遺跡詳細分布調査報告書	1,000円
40	1986	江浦の水祝儀	3,000円
41	1987	広合遺跡発掘調査報告書	5,000円
44	1989	豆生田遺跡発掘調査報告書	3,000円
46	1989	雄鹿塚遺跡発掘調査報告書	2,500円
47・48	1989・1990	清水柳北遺跡発掘調査報告書その1 その2	14,000円
49	1990	広合遺跡（b・c・d区）・広合南遺跡発掘調査報告書	5,000円
50	1990	大谷津遺跡発掘調査報告書	4,000円
51	1990	雌鹿塚遺跡発掘調査報告書	7,000円
52	1991	広合遺跡（e区）・二ツ洞遺跡（a区）発掘調査報告書	6,500円
53	1992	尾上イラウネ遺跡発掘調査報告書Ⅱ	10,000円
54	1993	二ツ洞遺跡（b・c区）発掘調査報告書	3,000円
55	1994	大谷津遺跡・井出丸山古墳発掘調査報告書	3,000円
56	1995	土手上遺跡（b・c区）発掘調査報告書	4,000円
57	1995	下道遺跡発掘調査報告書	2,000円
58	1995	埋蔵文化財発掘調査報告書	2,500円
59	1996	西洞遺跡（a区）・葛原沢遺跡発掘調査報告書	3,000円
60	1996	三枚橋城址外堀跡発掘調査報告書	2,000円
61	1996	柏葉尾遺跡発掘調査報告書	2,000円
62	1996	下石田原田遺跡発掘調査概報	500円
63	1997	土手上遺跡（d・e区－1）発掘調査報告書	3,500円
64	1998	土手上遺跡（d・e区－2）発掘調査報告書	2,500円
65	1998	拓南東遺跡発掘調査報告書	2,000円
66	1998	鳥沢遺跡発掘調査報告書	1,500円
67	1998	御幸町遺跡発掘調査報告書－遺物編（土器）－	2,000円
68	1999	長塚古墳・清水遺跡発掘調査報告書	1,000円
69	1999	西洞遺跡（b区－1）発掘調査報告書	2,600円
70	1999	埋蔵文化財発掘調査報告書	2,600円
71	2000	西洞遺跡（b区－2）発掘調査報告書	1,500円
72	2000	東畑毛遺跡（第4次）発掘調査報告書	1,500円
73	2000	尾崎遺跡発掘調査報告書	1,000円
74	2000	下石田原田遺跡発掘調査報告書	2,800円

集	発行年	頒 布 図 書 名	頒布価格
75	2000	鳥谷アラク遺跡発掘調査報告書	600円
76	2001	北神馬土手遺跡・尾上Ⅱ橋遺跡発掘調査報告書	2,800円
78	2002	西洞遺跡（c・d区）発掘調査報告書	1,000円
79	2002	千本遺跡発掘調査報告書	1,000円
80	2002	稲荷林遺跡発掘調査報告書	500円
81	2002	尾上イラウネ北遺跡（第2次）発掘調査報告書	500円
82	2003	市道0230号線関連遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書	1,500円
83	2004	三芳町遺跡発掘調査報告書	500円
84	2004	八兵衛洞遺跡発掘調査報告書	1,000円
85	2004	上ノ段遺跡発掘調査報告書(1)	1,000円
86	2004	埋蔵文化財発掘調査報告書 4	500円
87	2005	埋蔵文化財発掘調査報告書 5	1,000円
88	2005	史跡長浜城跡発掘調査概報	200円
89	2006	石川古墳群 第二東名No.34地点 第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 沼津市－1 第一分冊・第二分冊	1,800円
90	2007	尾上第1遺跡 第二東名No.3地点 第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 沼津市－2	850円
91	2007	西ノ久保遺跡発掘調査報告書	350円
92	2007	八兵衛屋敷遺跡発掘調査報告書	350円
93	2007	尾上第2遺跡発掘調査報告書	400円
94	2008	尾壺遺跡 第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 沼津市－3	1,300円
95	2009	稲荷林遺跡（第2次）発掘調査報告書	900円
96	2009	清水柳北遺跡（第3次）発掘調査報告書	350円
97	2009	中見代第Ⅰ遺跡発掘調査報告書(2) 第二東名No.6地点 第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 沼津市－4	1,500円
98	2010	尾壺遺跡（第2次）・清水柳北遺跡（第2次）発掘調査報告書	1,000円
99	2010	八兵衛洞遺跡（第3次） 第二東名No.9・10・11・12地点 第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 沼津市－5	1,200円
100	2011	井出丸山遺跡発掘調査報告書	600円
101	2011	拓南遺跡発掘調査報告書	300円
102	2011	二ッ洞南遺跡・植出北Ⅱ遺跡 第二東名No.4・5地点 第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 沼津市－6	2,000円
103	2011	鳥沢遺跡第2次発掘調査報告書	400円
104	2011	高尾山古墳発掘調査報告書	残部なし
114	2016	国史跡長浜城跡整備事業報告書	残部なし
	1982	沼津の文化財	600円
	1994	沼津の文化財 補遺	400円
	2002	沼津の文化財 補遺(Ⅱ)	200円
	1987	興国寺城文献資料集	500円
	2017	スルガ最初の王ここに眠る 高尾山古墳	残部なし
	2020	もっと知りたいぬまづのこと ぬまづの史跡ガイドブック	160円

※2017年以降はPDFにて無償公開

9. 地域史保存活用事業

沼津市史や戸田村史の編さん事業をとおして収集された沼津の歴史を明らかにする貴重な歴史資料を市民共有の財産として後世に伝え、さらに、市民の郷土に対する理解を深めるとともに、歴史的価値のある文書等の散逸を防ぎ、記録・保存し、資料の活用を推進する。

○刊行物

(有 償)

	発行年	図 書 名	頒布価格
沼津市史	1993	沼津市史 史料編 近世 1	¥6,000
	1996	沼津市史 史料編 古代・中世	¥7,000
	1997	沼津市史 史料編 近代 1	¥7,000
	1999	沼津市史 史料編 漁村	¥6,000
	1999	沼津市史 資料編 自然環境	¥7,000
	2000	沼津市史 史料編 近世 2	¥6,000
	2001	沼津市史 史料編 近代 2	¥5,000
	2002	沼津市史 資料編 民俗	¥5,000
	2002	沼津市史 資料編 考古	¥4,000
	2003	沼津市史 史料編 近世 3	¥5,000
	2004	沼津市史 史料編 現代	¥5,000
	2004	沼津市史 別 編 絵図集	残部なし
	2005	沼津市史 通史編 原始・古代・中世	¥3,000
	2006	沼津市史 通史編 近世	¥3,000
	2007	沼津市史 通史編 近代	¥3,000
	2007	沼津市史 通史別編 漁村	¥2,500
	2009	沼津市史 通史編 現代	¥3,000
	2009	沼津市史 通史別編 民俗	¥2,500
戸田村史	2014	戸田村史 民俗編	残部なし
	2016	戸田村史 通史編	¥3,000
沼津市史研究	1992	沼津市史研究 1	残部なし
	1993	沼津市史研究 2	¥1,000
	1994	沼津市史研究 3	¥1,000
	1995	沼津市史研究 4	¥1,000
	1996	沼津市史研究 5	¥1,000
	1996	沼津市史研究 6	¥1,000
	1998	沼津市史研究 7	¥1,000
	1999	沼津市史研究 8	¥1,000
	2000	沼津市史研究 9	¥1,000
	2001	沼津市史研究10	¥800
	2002	沼津市史研究11	¥800
	2003	沼津市史研究12	¥800
	2004	沼津市史研究13	¥800
	2005	沼津市史研究14	¥800
	2006	沼津市史研究15	¥800
	2007	沼津市史研究16	¥800
	2008	沼津市史研究17	¥800
	2009	沼津市史研究18	¥800
	2011	沼津市史研究19	¥800

	発行年	図 書 名	頒布価格
沼津市史叢書 一	1993	静岡県漁場図解説書	¥1,500
二	1994	戦中絵日記	¥2,000
三	1995	原宿植松家 日記・見聞雑記	¥2,000
四	1996	旧村地誌 金岡村誌・鷹根村誌・鷹根村沿革誌	¥2,000
五	1998	原宿植松家 日記・見聞雑記二	¥2,000
六	1998	破れ扇・伊勢参宮画日記	¥2,000
七	2000	大平村古記録	¥1,500
八	2001	沼津史料 付 沼津宿案内記中巻	¥1,000
九	2003	旧村地誌二 浮島村誌・郷土の研究	¥1,000
十	2004	沼津漁村記録	¥1,000
十一	2009	江藤千萬樹考古学論集	¥1,500
沼津市史編さん 調査報告書 一	1991	江藤・増山家古文書目録	残部なし
二	1992	桃里の民俗（民俗報告書一）	残部なし
三	1993	愛鷹の石仏・石神（石仏・石神報告書一）	残部なし
四	1993	木負・河内の民俗（民俗報告書二）	残部なし
五	1993	大平の石仏・石神（石仏・石神報告書二）	残部なし
六	1994	岡宮の民俗（民俗報告書三）	¥1,500
七	1995	原の石仏・石神（石仏・石神報告書三）	¥1,500
八	1995	柳沢の民俗（民俗報告書四）	¥1,500
九	1996	塩満の民俗（民俗報告書五）	¥1,000
十	1998	木瀬川の民俗（民俗報告書六）	¥1,500
十一	1998	香貫・我入道の石仏・石神（石仏・石神報告書四）	¥1,500
十二	1998	三枚橋の民俗（民俗報告書七）	¥1,500
十三	1999	松長の民俗（民俗報告書八）	¥1,500
十四	2002	上香貫霊山寺の近世墓	¥1,000
十五	2005	神明塚古墳（第二次）発掘調査報告書	¥1,000
十六	2006	統計資料集	¥1,000

（無 償）

「沼津市史だより」第1～25号

歴史民俗資料館

1. 施設の概要

名称	沼津市歴史民俗資料館
所在地	沼津市下香貫島郷2802-1 沼津御用邸記念公園内
電話	932-6266
F A X	934-2436
建築面積	535.6㎡ (ボイラー室棟 13.9㎡)
延床面積	890.8㎡ 1階 386.4㎡ 2階 504.4㎡



構造	鉄筋コンクリート造2階建(ボイラー室棟ブロック造)
開館	昭和49年12月8日
施設内容	1階 展示室(105.2㎡) 荷解作業室(68.4㎡) ホール(62.9㎡) 収蔵庫(44.5㎡) 事務室(31.3㎡) 機械室(38.7㎡) その他(35.4㎡) 2階 展示室(185.0㎡) 収蔵庫(100.0㎡) ホール(67.6㎡) 特別収蔵庫(37.4㎡) 展示ケース(33.5㎡) 会議室(22.9㎡) 機械室(11.2㎡) 暗室(7.8㎡) その他(39.0㎡)
休館日	毎週月曜日(祝日は開館)、毎月最終の平日、国民の祝日の翌日(土日は除く)、 年末年始
開館時間	午前9時～午後4時
観覧料	無料

※昭和59年4月1日沼津市博物館条例の制定により、館名を「沼津市歴史民俗資料陳列館」から「沼津市歴史民俗資料館」と改称した。

2. 資料館の目的

資料館は、社会教育施設として資料の展示や保護保存、啓蒙普及活動などを通じて市民の生涯教育を助けること、また、調査研究活動を通じて、その資料を市民に提供し、地域社会のよりよい発展と文化の振興に寄与することを目的としている。

3. 事業活動

(1) 資料館の事業

- ① 失われつつある市内の歴史資料や民俗資料などの保護、収集保管。
(令和6年5月現在 民俗資料19,804点、古文書資料30,623点)
- ② 展示活動、講座、研究会などの啓蒙普及活動。
- ③ 資料に関する専門的な調査研究による情報交換や出版活動、展示活動などの資料公開。
- ④ 令和5年10月に移転整備の基本方針となる移転整備基本構想を策定。
- ⑤ 令和5年度に第1回沼津市歴史民俗資料館移転整備基本計画策定委員会を開催。

(2) 令和5年度事業実績

事業名	期日	内 容	備 考
企 画 展	7月1日～ 9月24日	「絵葉書で見る100年まえの沼津」	ポスター、チラシ、図録
歴 民 講 座	1月20日	「武田氏の河東二郡支配と 興国寺城代曾禰昌世」	講師体調不良のため中止
体 験 教 室	7月22・25・29日 8月11・26・27日	「昔の道具を使ってみよう」	小学生対象
刊 行 物	年間	資料館だより（年4回発行） 資料集（沼津の絵葉書Ⅰ） 博物館紀要（明治史料館共同発行）	238－241号（無料）各1,800部 34号（有償） 600部 48号（有償） 600部

(3) 令和6年度事業計画

事業名	期日	内 容	備 考
企 画 展	11月30日～ 3月30日	開館50周年記念特別展 「れきみんなのおたから 指定文化財から 秘蔵資料まで大公開！」	ポスター、チラシ、図録
歴 民 講 座	10月19日	「大御所家康と駿東」	市立図書館視聴覚ホール
	未 定	（仮題）「武田氏の河東二郡支配と 興国寺城代曾禰昌世」	市立図書館視聴覚ホール
体 験 教 室	夏休み期間の 土・日・祝日	「昔の道具を使ってみよう」	小学生対象
刊 行 物	年間	資料館だより（年4回発行） 資料集 博物館紀要（明治史料館共同発行）	242－245（無料） 各1,500部 35号（有償） 500部 49号（有償） 600部

4. 歴史民俗資料館協議会

資料館の円滑な運営を図るため昭和49年に設置。現在は学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者等10人以内で構成され、任期は2年。

5. 利用状況（令和5年度）

月	入 館 者 数	開館日数	月	入 館 者 数	開館日数
4	1,565 人	25 日	10	2,234 人	26 日
5	2,058	25	11	1,922	24
6	2,159	25	12	1,067	23
7	1,733	25	1	1,197	23
8	2,094	26	2	1,821	24
9	1,812	25	3	1,761	25

令和5年度 入館者数 21,423人 開館日数 296日 一日平均入館者数 72.4人